

臨床腫瘍セミナー

平成24年10月23日(火)
18時~19時

福島県立医科大学11号館(臨床講義棟) 第二臨床講義室

「オピオイド注射薬の使い方とペインクリニック的がん疼痛治療法」

公益財団法人 がん研有明病院 麻酔科(ペインクリニック) 副部長

服部 政治 先生

<講演内容>

がんの痛みは多くの不幸をもたらします。動けなくなり、食欲がなくなり、生きる気力がなくなり、そしてがん治療さえもできなくなったりします。現在、WHO方式がん疼痛治療法にそって治療することで、70~90%の患者さんの痛みを軽減させることが可能であるといわれています。WHO方式ではオピオイドの経口投与ができない場合は、持続静脈内投与、持続皮下投与、経皮投与などを病態に応じて選択します。オピオイドの持続静脈内投与、持続皮下投与では、patient controlled analgesia (PCA) を利用すると医療スタッフの労力が軽減でき、患者さんにとっても「痛み」にすぐ対応できるという安心感を与えることができます。また、これらWHO方式でとることのできない“痛み”の場合は“痛みを治療する”専門的な技術が必要となり、麻酔科・ペインクリニック科がその担い手となります。本講演では、オピオイド注射薬の使用法と難治性がん疼痛の治療に対するペインクリニック的がん疼痛治療法について症例を交えて紹介します。

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

<講師紹介>

1992年大分医科大学を卒業、
同麻酔学教室へ入局。
1999年米国留学。メモリアル・スローン・ケタリング・キャンサーセンターで麻酔科ペインクリニック科による術後鎮痛ならびにがん性疼痛管理を学び、2000年に帰国。
大分大学医学部附属病院の緩和ケア支援チームリーダーの任に就く。
2008年、現職。

後援：塩野義製薬株式会社

<次回開催のお知らせ>

日時：平成24年11月20日(火) 18時~19時

<問い合わせ先>

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室

TEL：024-547-1410(内5660) mail：yamadaa@fmu.ac.jp

ペインクリニックを
プロフェッショナルに
学ぶ